



Ⅲ 基本計画

第4部 総合計画の 推進にあたって

総合計画の 推進にあたって

今後、社会経済環境が変化していく中で、総合計画を着実に推進していくためには、市民ニーズや時代の変化に的確に対応することが必要であり、限られた予算や人材の適正な配分、効果的・効率的な活用を図っていくことが求められます。

本市では、総合計画で掲げる諸施策を確実に実現していくために、指標(数値目標)を設定し、成果を重視した行政経営を展開していきます。

行政評価を活用した 指標の進行管理

本計画では、施策や事業を推進した結果、将来の富士市がどのような状態になるのかをわかりやすく表現するために、各施策を代表する指標として「施策指標」を設定して「10年後のめざす姿」を数値化するとともに、市民満足度調査を実施し、その結果を行政運営に反映していきます。

また、総合計画の進行管理にあたっては、「行政評価」を活用しながら、指標の目標値の進捗状況を評価・検証していきます。

P D C A サイクルによる 継続的な改善

総合計画の実施にあたっては、「Plan(計画)⇒Do(実行)⇒Check(評価)⇒Action(見直し)」という流れを繰り返すことが重要であるため、施策や事務事業を成果の観点から評価・検証し、継続的な見直し・改善に取り組みます。

また、その評価結果を市民に公表し、成果や課題を市民と共有しながら、課題解決に向けた取組を実行することにより、行政サービスの質的向上を目指します。

